

# SHOW HEYシネマルーム



## Data

監督・脚本・製作: トム・フォード  
原作: クリストファー・イシャーウッド『A Single Man』  
出演: コリン・ファース/ジュリアン・ムーア/ニコラス・ホルト/マシュー・グード/ジョーン・コルタジャレナ/ジニファー・グッドウィン

## 👁️👁️ みどころ

トム・フォードと聞いてわかる人は、かなりのファッション通！稀代のファッションデザイナーが選んだ初監督作品は、自らの人生を投影した(?) 何とも微妙なゲイの物語。

最愛のパートナーを亡くした主人公が下した結論とは？ そんな彼の今日一日の行動とは？ あっと驚く逆転また逆転の結末とは？ アカデミー賞主演男優賞にノミネートされた内面の演技に注目し、ゲイの愛の深さを学習したい。

\* \* \* \* \*

## 最愛のパートナーとは？

本作は、稀代のファッションデザイナーとしてグッチを立ち直らせ、イヴ・サンローランを改革したというトム・フォードが、クリストファー・イシャーウッドの原作『A Single Man』を基に自ら脚本を書き、監督初作品としたもの。とは言っても、それはプレスシートを読み本作を観てはじめて知ったこと。

本作のテーマは「愛する者との別れ」。16年間も共に暮らした「最愛の人」を亡くしてから8カ月。LAの某大学で英文学を教えている大学教授の主人公ジョージ(コリン・ファース)はその悲しみを終わらせるべく、今日はある重大な決意を実行に移すことに。本作はそんな人生のすべてが詰まったジョージのたった一日の物語を描くものだが、最愛のパートナーとはいったいダレ？本作はコリン・ファースとジュリアン・ムーアの共演だから、てっきりそれはジュリアン・ムーアだと思ったが、それは完全な勘違い。なんとジョージの最愛のパートナーとは、男性のジム(マシュー・グード)。そう、本作はゲイの世界に新たな1頁を切り開くものなのだ。

## 愛の本質とは？

ジュリアン・ムーア扮する女性シャーロットは、かつてジョージの恋人だったが、今はジョージの親友。したがって、シャーロットの願い（モーション？）にもかかわらず、ジョージは再びシャーロットに心を動かすことはないようだ。

ところでプレスシートによると、アメリカンドリームをその手にした大成功者たるトム・フォードはお金・家・愛犬・友人など物質的なもので手に入れられるものはほとんど手にしたらしいが、その中に23年間連れ添っているボーイフレンドも入っていたから、本作は彼自身の人生を投影したもの？なるほど、アメリカにはゲイが多いわけだ。しかし、本作が描く愛の本質とは？

## アカデミー賞主演男優賞ノミネート、おめでとう！

クールビズが定着してきたうえ、クソ暑い日本の夏にネクタイを締めるバカバカしさに目覚めた私とは大違いで、映画冒頭みるジョージの服装へのこだわりはハンパではない。これは稀代のファッションデザイナーであるトム・フォードが監督しているのだから当然かもしれないが、毎日これだけ完璧な服装をキープするのは大変。もっとも、本作が描くジョージの今日一日は特別な意味をもつ一日だから、そのこだわりはいつも以上・・・？

本作におけるジョージのセリフは非常に少なく、表情だけの演技が要求される難しい役柄だが、そのジョージ役を見事に演じきったコリン・ファースは第6回ヴェネチア国際映画祭で最優秀主演男優賞を受賞した他、第82回アカデミー賞主演男優賞ノミネートという褒美が。おめでとう、コリン・ファース。

## ゲイ同士って、すぐにわかるの？

そんなジョージが今日大学で行った講義は、自らの信条を吐露したものでいつも以上に熱がこもっていたらしい。そのためか、教え子のケニー（ニコラス・ホルト）が授業終了後に質問にきたり、ジョージの自宅を聞き出して夕方にはストーカーまがいの偶然を装って、ジョージの目の前に登場してきたり・・・。ケニーには同世代の恋人がいるはずだが、ジョージと一緒に素っ裸になって夜の海の中に飛び込んでいく姿を見ていると、ケニーもゲイ・・・？さらに、本作には「トム・フォード」ブランドのアドキャンペーンモデルとして活躍し、ブランドの顔として広く知られているスペイン生まれのイケメン男ジョン・コルタジャレナがカルロス役で登場し、ジョージからのナンパ（？）を積極的に受けとめようとするからそれに注目。回想シーンで登場するジョージとジムの出会いもある偶然からだったから、カルロスだって場合によればこの日の偶然から第2のジムになる可能性も？

こんなシーンを観ていると、ゲイ同士って互いにすぐわかるもの？ついそう考えてしま

ったが、さてその真相は？



© 2009 Fade to  
Black Productions,  
Inc. All Rights  
Reserved.

## 同じ事象でも視点が変わると？

本作はジョージが目覚めるシーンから始まる。今日一日の本来の予定は大学での一コマの授業だけ。もっとも、夜には親友のシャーロットとの約束が入っているが、今日一日ジョージがある決意をやり抜くためには、そんな約束は破ってもいい、軽いもの？

交通事故によるジムの突然の死亡から8カ月。ジョージの悲しみはずっと癒されることなく、生きていく価値を見失ってしまったジョージがその悲しみを終わらせるべく下した結論はただ1つだった。したがって、今日一日ジョージがやるべきことは多い。第1は銃弾の購入。第2は銀行の貸金庫の整理。第3は貯蓄金や保険の整理。そして第4は遺言とまではいかないとしても、自分の死後誰も混乱させないための指示の数々。ジョージはそんな今日やるべき仕事を黙々とこなしていくのだが、こんな日に限って講義の後ケニーからの質問を受けたり、銀行の中でうっとうしかった隣家の女の子と出会ったり、さらにはスペイン男性とのきわどい出会い(?)が生まれたり……。そして夜、シャーロットの家を訪れると、ドレスアップしたシャーロットとの昔話を花を咲かせる中、かなり微妙な雰囲気になったり……。さらに、その後は明らかにジョージを目指して訪れてきたケニーと夜の海に飛び込んだり、何と充実した変化の多い一日に……。

そして今、酔いから覚めて目覚めると、熟睡しているカルロスの姿があり、ジョージは今日一日をゆっくり振り返ることができた。オレは何とバカなことを考えていたのだろう。一瞬ジョージがそんな風に考えたのは当然だろう。しかして、その後に訪れる逆転また逆転の結末とは？それは、あなた自身の目でしっかりと。

2010(平成22)年8月3日記